

1 単元 やさいを そだてよう

2 教科の目標

野菜の成長や収穫への期待、進んで世話をしようとする気持ちを絵や言葉などで表現することができる。

3 活用したICT

コンピュータ

4 活用したICTの工夫

撮影した画像と気付きを活用して作成した資料をコンピュータを活用して意見交流し、進んで世話をしようとする気持ちを高める。(コンピュータ)

5 実践の様子

① 資料づくり

コンピュータを活用して、友達と意見交流するための資料をつくることにした。コンピュータの操作に慣れていないため、右のような枠で資料づくりに取り組ませた。野菜の全体画像、拡大画像、気付いたことといった内容にした。(資料1)

文字入力に慣れていなくても、自分の気付きを伝えたいという思いから熱心にキーボードに向かい、文字を入力する姿が見られた。



資料1 子どもがつくった資料

② 意見交流

デジタルデータの資料づくりには、多くの子どもが熱心に取り組むことができた。新たな気づきをできるだけ多くの子どものに見てもらい、友達からの反応をもらってほしいという私の思いから、チャットを活用することにした。チャットは瞬時に多くの友達に見てもらうことができ、反応が素早く返ってくるため、子どもたちの気付きを広めるためによいと考えた。

チャットを始めると、多くの子どもは、次から次へと友達の資料をクリックして開き、熱心に見ることができた。このとき、資料を見たときは必ずコメントを残すように指示を出した。しかし、子どもたちは見ることに熱心になりすぎるあまり、コメントを書くことができなかった。しかし、子どもの口からは、「あっ、これ、私も気付いたよ。」「すごい、よく見つけたね。」といった言葉が聞かれた。

6 成果と課題

○ チャットを活用して、自分の気付きを多くの友達に伝えることができた。そのため、友達から多くの反応をもらい、これからも野菜を世話していこうという気持ちを高めることができた。

● 文字入力という技能が必要であり、十分な内容の意見交流とまでは発展できなかった。しかし、数多くの反応から気持ちを高めることはできた。今後は、技能を高め、意見の内容が十分な交流ができるように取り組んでいきたい。